

目次

[簡易版ファクト・シート]	P 8	大項目（4指標）ヒストリカル順位推移
P 1 定性情報・会社情報	P 9	ランキング算出根拠 全経営指標 5分位表（1）
P 2 決算データ、財務健全性検証及びコメント	P 1 0	ランキング算出根拠 全経営指標 5分位表（2）
P 3 バリュエーション、収益性指標及び順位	P 1 1	業種別経営指標ポイント平均
P 4 ROE/ROA/配当性向/DOE 順位等推移	[経営指標比較・レポート]	
[経営指標ランキング・レポート]	P 1 2	成長性比較（売上高/営業利益/経常利益）
P 5 「経営指標総合」	P 1 3	利益率比較（営業利益率/最終利益率）
P 6 「経営指標総合」ヒストリカル推移及びコメント	P 1 4	資本利益率比較（ROE/ROA）
P 7 大項目（4指標）における全社分布表	P 1 5 ~	ディスクレーマー

定性情報

- 【電源IC製造販売】
- スマートフォン、パソコンなどのポータブル機器、カーナビ、バックモニターカメラなどの車載機器、監視カメラや産業機器など向けに、超小型、省電力のアナログ電源ICの開発、製造を行うファブレス電源IC専業メーカーである一方で、16年4月に半導体製造企業であるフェニテックセミコンダクター（以下、フェニテック）を子会社化した。フェニテックのトレックス製品の受注高は半導体の前工程において10%程度と低く、他社製品の受注が大きい。小型、低消費電流、高効率、低ノイズを追求めた技術を活かしたコイルー体型DC/DCコンバータであるXCL303/304シリーズが好調に出荷を伸ばし、直近3年間でコイルー体型DC/DCコンバータの売上は1.9倍以上となっている。
- 【19年度決算】
- 連結ベースで売上高は前年度から10.0%減少。トレックスは中国でのETCに関連した車載機器が好調で、アジア向けの売上高は前年度比2.8%増加したが、産業機器が米中貿易問題等の影響により低調で単独では4.4%の減収。一方でフェニテックは、鹿児島工場で設備導入の遅延が生じたことや、18年度下期から中華圏において影響のあった米中貿易問題を発端とした受注減少傾向が19年度も続いたことから、北米、中華圏での売上減少が響き、年度ベース（単独）で14.2%の減収となったが、日本・欧州の売上は増加し、その他の民生機器でも中華圏向けが徐々に回復基調にあり、第4四半期（20年1月～3月期）の売上高（単独）は3,322百万円と、前年同四半期の2,884百万円を上回ったことはプラスのサプライズであり、明るい兆しが見られたと判断する。
 - 各利益項目の減少は売上高の減少による部分が大きく、親会社株主に帰属する当期純利益は前年度から60.2%減益の417百万円の着地となったが、フェニテック工場の統合による減価償却費の増加（対前年度227百万円増の1,312百万円）、前年度217百万円発生した為替差益の反動減（38百万円の為替差損）なども減益要因として加わった。
 - 尚、同社は新型コロナウイルス感染症拡大の影響の不透明さから、現段階で20年度の業績予想を発表していないため、本レポートにおける経営指標、及び経営指標ランキング・レポートにおける20年度の業績予想はSC社見込みを採用している。そのため、今後、四半期ごとに更新される経営指標ランキングが、同社が20年度業績予想を発表することによって大きく変動する可能性のあることには注意が必要である。（決算短信 決算説明会資料）
- 【経営指標ランキング】
- 19年確定経営指標総合ランキング（20年5月基準）：2,269位/3,366社で、18年度確定順位より順位を834位落としたが、「健全配当性向」は上位から30%内となった。配当方針に掲げているDOEを意識した株主還元施策が実践されている証。（P5以降）

会社情報

2020年6月24日 現在

株式コード	6616				
正式名称	トレックス・セミコンダクター（株）				
本社事務所所在地	東京都中央区新川 1 - 2 4 - 1				
主要取引市場	東証 1 部				
東証業種区分	電気機器				
売買単位	100 株	代表取締役 社長執行役員	芝宮 孝司		
最低売買代金	129,700 円	直近四半期末資本金	2,967 百万円		
上場日	2014/04/08	時価総額	14,986 百万円	1996位	3816社中
登記上設立日	1995/03/31	売買代金25日平均	41,121 千円	2075位	3816社中
決算月日	03/末	(2020年3月末時価総額)	11,820 百万円	2026位	3816社中
大株主所有割合	67.1 %	(2019年度平均売買代金)	59,110 千円	1858位	3816社中
浮動株比率	14.0 %				

簡易版ファクト・シート

(決算データに基づく財務指標、財務健全性検証)

2020年6月24日
スプリングキャピタル株式会社

会社発表決算データに基づくスプリングキャピタル社試算経営指標等 (単位: 百万円、%、倍)

会社発表決算データに基づく財務指標及びキャッシュフロー (スプリングキャピタル社算出)

(全社)会計年度 決算期		2015A/C 2016/03	2016A/C 2017/03	2017A/C 2018/03	2018A/C 2019/03	2019A/C 2020/03	直近 四半期決算
データ根拠		有報	有報	有報	有報	短信	
流動比率	%	666.9	296.1	316.0	320.5	271.5	
固定比率	%	19.8	57.2	43.6	43.3	48.2	
自己資本比率	%	83.9	45.3	51.8	69.0	67.1	
負債比率	%	18.8	84.1	61.4	44.6	49.1	
デットエクイティレシオ	%	0.1	54.4	34.9	24.1	25.4	
インタレストカバレッジレシオ	倍	1,154.0	31.3	69.9	52.6	27.1	
財務レバレッジ	倍	1.2	2.2	1.9	1.4	1.5	
営業活動によるC F	百万円	1,302	1,635	2,335	2,699	1,144	
投資活動によるC F	百万円	-169	2,714	-697	-3,256	-1,549	
財務活動によるC F	百万円	-422	-994	1,151	-928	-1,176	
(現金及び同等物)	百万円	(6,855)	(9,714)	(12,280)	(10,883)	(9,172)	
(E B I T D A)	百万円	(1,412)	(2,165)	(2,964)	(2,935)	(2,014)	

財務健全性検証

2020年6月24日 現在

		A 29業種	B 電気機器	標準 A、Bの	標準値	望まれる 水準	同社数値	検証
流動比率	%	141.8	159.5	低い数値	141.8	より高い	271.5	○
固定比率	%	145.1	125.0	高い数値	145.1	より低い	48.2	○
自己資本比率	%	39.4	41.1	低い数値	39.4	より高い	67.1	○
負債比率	%	147.2	135.4	高い数値	147.2	より低い	49.1	○
デットエクイティレシオ	%	148.2	130.5	高い数値	148.2	より低い	25.4	○

[財務健全性コメント]

- ・ 検証結果は5項目中全ての項目において健全性標準をクリアしており、健全性に全く問題がないと判断される。

(判断根拠)

- ・ 金融4業種を除く「29 (全) 業種」、及び、同業である「電気機器業」との比較において、5項目全てにおいて、健全性が優れている。(P2)
- ・ 同社は、16年度にフェニテックセミコンダクターを連結子会社化したことにより、それまでの実質無借金経営から大きく財務戦略を転換したが、18年度末時点で既に健全性検証項目の全てにおいて、「全業種」及び「電気機器業」を上回る健全性が確認されており、19年度もその状態を維持した。19年度については「自己資本比率」が前年度末よりも1.9%ポイント低下しているが、これは、自社株買いを行ったことと、退職給付に係る調整累計額の増加が要因であり、高い財務健全性に変化はない。(P2)

簡易版ファクト・シート

(バリュエーション・データ、決算データに基づく収益性指標)

2020年6月24日
スプリングキャピタル株式会社

バリュエーション及び市場データ

2020年6月24日 現在

終値	1,297.0 円	年初来高値	1,743.0 円	2020/01/14
予想 P E R	20.20 倍	年初来安値	855.0 円	2020/03/13
実績 P E R	33.92 倍	6ヶ月騰落率	-19.3 %	(TOPIX) -8.5 %
実績 P B R	0.76 倍	12ヶ月騰落率	15.9 %	(TOPIX) 2.1 %
実績配当利回り	3.08 %	12ヶ月ヒストリカル・ボラティリティ	50.3 %	(TOPIX) 21.2 %
EV/EBITDA	4.77 倍			
予想 P S R	0.64 倍			
実績 P S R	0.66 倍			

会社発表決算データに基づく収益性指標と全社順位（金融を除く29業種）（スプリングキャピタル社算出）

(全社)会計年度 会社決算期		2015A/C 2016/03 実績	2016A/C 2017/03 実績	2017A/C 2018/03 実績	2018A/C 2019/03 実績	2019A/C 2020/03 実績	2020A/C 2021/03 見込み
対象社数	社	3443	3467	3512	3512	3418	3512
売上高	百万円	10,621	21,559	23,996	23,896	21,500	23,000
順位	位	2499	1951	1887	1944	1928	1883
営業利益	百万円	1,139	1,251	2,212	1,550	678	1,100
順位	位	1845	1813	1477	1718	2158	1792
経常利益	百万円	970	905	1,998	1,820	676	1,100
順位	位	1951	2053	1571	1638	2172	1809
当期純利益	百万円	580	2,930	902	1,049	417	700
順位	位	1912	978	1836	1680	2116	1805

* 企業規模の影響を受けるため、上位からのパーセンテージは算出しない。

売上高営業利益率	%	10.7	5.8	9.2	6.5	3.2	4.8
全社合計	%	6.2	6.7	7.3	7.2	5.9	5.7
順位	位	613	1587	901	1409	2252	1703
上位からのパーセンテージ	%	17.8	45.8	25.7	40.1	65.9	48.5
売上高経常利益率	%	9.1	4.2	8.3	7.6	3.1	4.8
全社合計	%	6.2	6.7	7.4	7.2	6.1	6.2
順位	位	845	2081	1082	1217	2276	1748
上位からのパーセンテージ	%	24.5	60.0	30.8	34.7	66.6	49.8
売上高最終利益率	%	5.5	13.6	3.8	4.4	1.9	3.0
全社合計	%	3.6	4.3	5.2	4.9	3.5	4.0
順位	位	971	194	1754	1457	2196	1768
上位からのパーセンテージ	%	28.2	5.6	49.9	41.5	64.2	50.3

会社発表決算データに基づく資本利益率と配当性向指標順位（金融を除く29業種）（スプリングキャピタル社算出）

(全社)会計年度		2015A/C	2016A/C	2017A/C	2018A/C	2019A/C	2020A/C
会計年度末		2016/03	2017/03	2018/03	2019/03	2020/03	2021/03
		実績	実績	実績	実績	実績	見込み
ROE	%	5.3	26.3	7.0	6.2	2.2	3.7
29業種合計	%	7.8	8.8	10.2	9.4	6.5	7.0
順位	位	2072	146	1984	2065	2691	2419
対象社数	社	3421	3438	3493	3507	3509	3505
上位からのパーセンテージ	%	60.6	4.2	56.8	58.9	76.7	69.0

- * 当期純利益÷自己資本（≒株主資本） 株主資本を使ってどのくらい最終的な利益率を確保したのかを表す重要指標。
2期の期末自己資本の平均を分母とするため、該当期間に自己資本がゼロ以下となった企業は対象外。
直近四半期決算におけるROEは、当期純利益の今年度見込み、及び、前年度末の自己資本と直近四半期の自己資本の平均から試算。

ROA	%	8.8	6.7	8.4	5.6	2.5	4.0
29業種合計	%	5.6	5.7	6.2	6.0	4.7	4.1
順位	位	877	1383	1045	1744	2654	1971
対象社数	社	3427	3450	3540	3512	3522	3512
上位からのパーセンテージ	%	25.6	40.1	29.5	49.7	75.4	56.1

- * 事業利益（営業利益＋利息・配当金収入）÷総資産 この数字が企業の金融コスト（例：社債発行コスト10年＝2％など）を上回っていれば、借入れ等による財務レバレッジにより事業を拡大させることが正当化される。
この事業利益が金融費用（支払利息・割引料）の何倍であるかを示したのがP2のインタレストカバレッジレシオであり、10倍以上が理想とされる。ROA、（売上高）利益率が高く、インタレストカバレッジレシオが十分な水準であれば、企業が積極的な財務活動を行っても問題はないと言える。2期の期末総資産の平均を分母とするため、同一基準で計測できない企業は対象外。
直近四半期決算におけるROAは、営業利益の今年度見込み、及び、前年度末の総資産と直近四半期の総資産の平均により試算。

配当性向	%	58.6	10.4	37.8	40.5	利益超過配当
29業種合計	%	33.8	30.1	27.4	32.4	46.8
順位	位	197	2512	509	573	対象外
対象社数	社	3238	3438	3525	3579	3548
上位からのパーセンテージ	%	6.1	73.1	14.4	16.0	対象外

- * （配当総額÷当期純利益）により算出。
会計原則の1株あたり利益から算出された企業発表数値と異なる場合があることに注意。
順位対象外：「利益超過配当企業」、「赤字決算でも配当を行った企業」

DOE	%	3.1	2.7	2.6	2.5	2.3
29業種合計	%	2.7	2.8	2.9	3.0	3.1
順位	位	602	907	936	1172	1314
対象社数	社	3238	3438	3493	3507	3509
上位からのパーセンテージ	%	18.6	26.4	26.8	33.4	37.4

- * DOE＝ROE×配当性向 真の配当性向とも呼ばれる。高い方が良く、この逆数（1÷DOE）が配当による自己資本（≒株主資本）の回収期間（年）となることから外国人投資家も注目している指標。
2期の期末自己資本の平均を分母とするため、該当期間に自己資本がゼロ以下となった企業は対象外。

経営指標ランキング・レポート (「経営指標総合」)

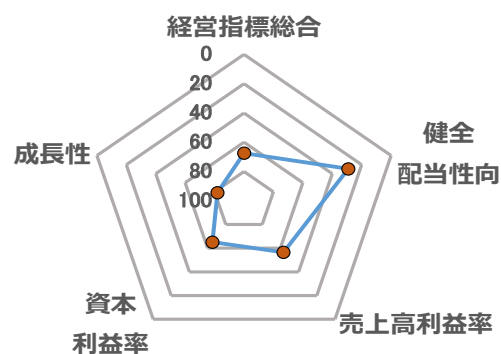
2020年5月決算発表基準
2020年6月24日
スプリングキャピタル株式会社

「経営指標総合」

(29業種全社内)	ポイント	上位から	ランキング	ポイント(全社平均50)				
				30	40	50	60	70
経営指標総合	46.4	67.4 %	2269 位	3366 社中	*****	*****	*****	*****

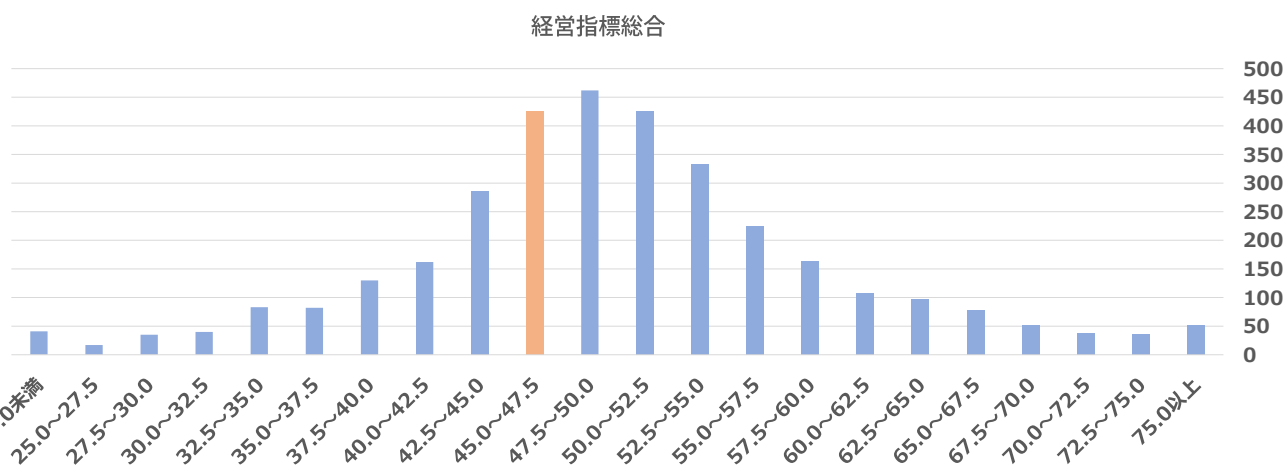
「経営指標総合」を構成する4項目(大項目)(後掲)					30	40	50	60	70
成長性	42.3	81.9 %	2758 位	3366 社中	*****	*****	*****	*****	*****
資本利益率	46.6	65.2 %	2194 位	3366 社中	*****	*****	*****	*****	*****
売上高利益率	47.5	56.6 %	1905 位	3366 社中	*****	*****	*****	*****	*****
健全配当性向	54.3	29.1 %	980 位	3366 社中	*****	*****	*****	*****	*****

(電気機器内)	ポイント	上位から	ランキング	
経営指標総合	46.4	70.0 %	161 位	230 社中
成長性	42.3	77.8 %	179 位	230 社中
資本利益率	46.6	65.7 %	151 位	230 社中
売上高利益率	47.5	63.5 %	146 位	230 社中
健全配当性向	54.3	30.4 %	70 位	230 社中



... 上位30%以内

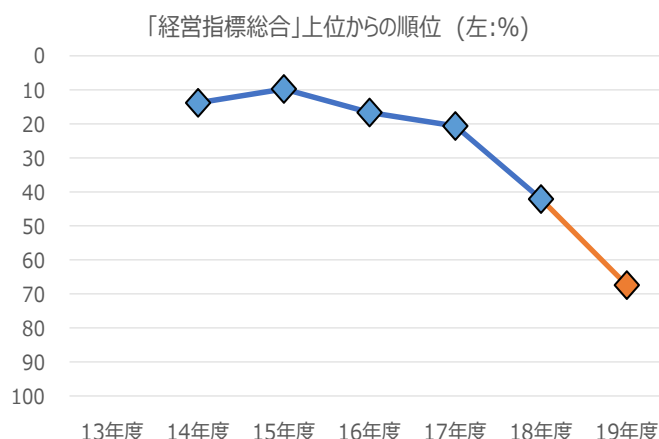
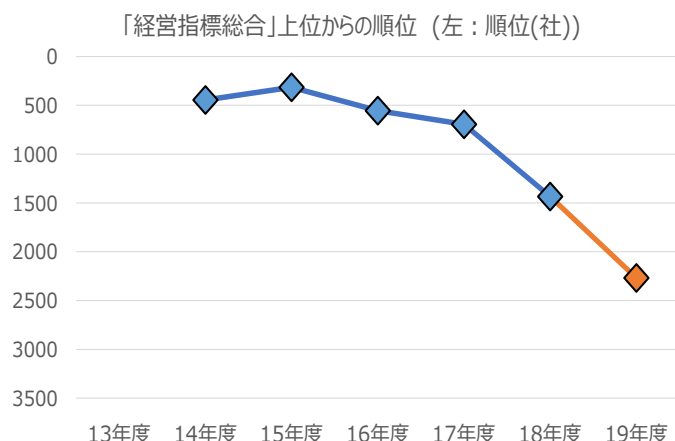
「経営指標総合ポイント」29業種3366社 分布表 (茶色: 同社) (右: 社数)



「経営指標総合ポイント」ヒストリカル推移 順位表／上位からのパーセンテージ

決算	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
ランキング基準日	15年5月	16年5月	17年5月	18年5月	19年5月	20年5月
社数	3220 社	3238 社	3326 社	3372 社	3408 社	3366 社
順位	445 位	315 位	554 位	695 位	1435 位	2269 位
上位から	13.8 %	9.7 %	16.7 %	20.6 %	42.1 %	67.4 %

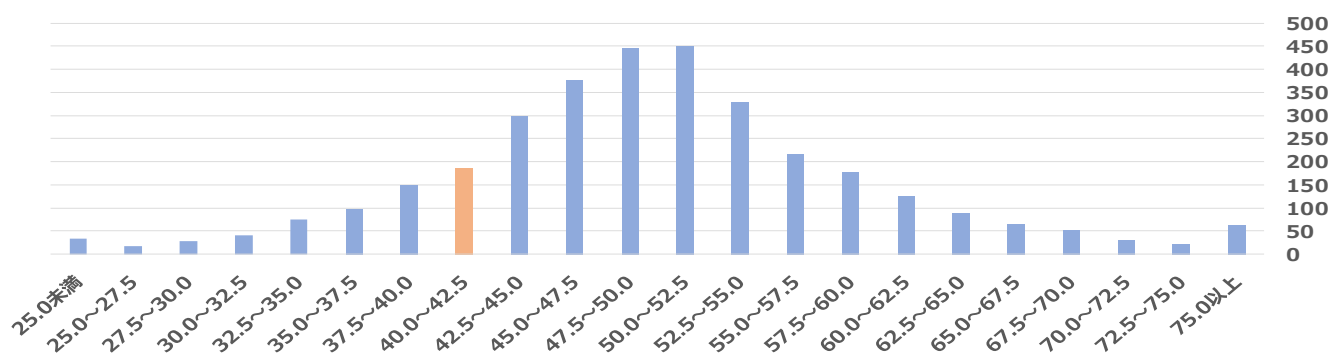
「経営指標総合」ヒストリカル順位推移



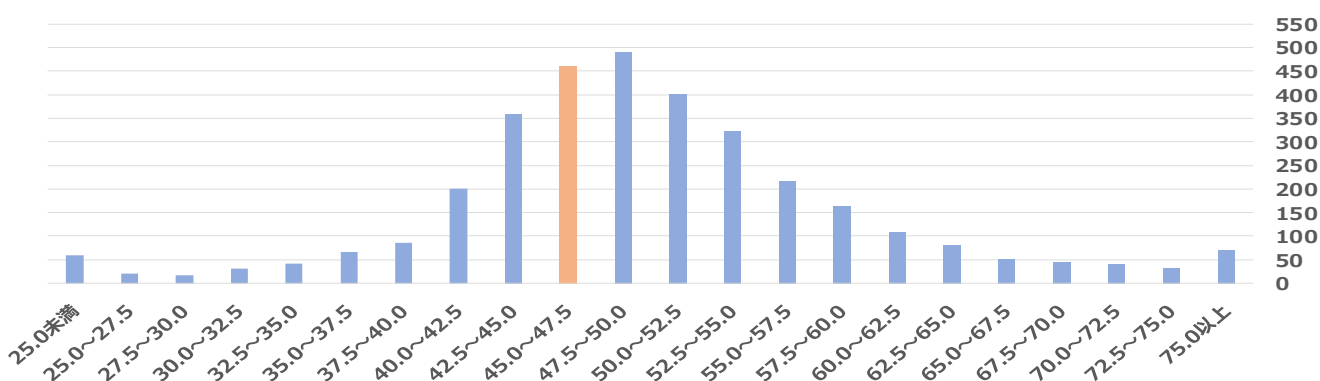
[総合コメント (定性評価を含む)]

- 3月決算銘柄の本決算が反映される19年度確定レポート(20年5月基準)における同社の「経営指標総合ポイント」は46.4、順位は3,366社中、2,269位となった。同社は、19年11月基準レポート作成時に、19年度の業績見込みについて下方修正を行ったため、18年度確定順位1,435位から、その順位を1,591位に落としていたが、今回の決算発表数値が、下方修正を行った業績予想に届かなかったことから、大きく順位を下げる事となった。しかし、P1に決算の詳細を記載しているが、鹿児島工場において設備導入の遅延があったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があった第4四半期において、フェニテックの売上高が前年同四半期を上回る(2,884百万円→ 3,322百万円)というプラスのサプライズが生じ、また、その鹿児島工場が20年度通期ベースで黒字に転じる見込みとなるなど、明るい兆しも見られる。尚、同社は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を見極めたうえで、今後、20年度の業績予想を公表していないことから、20年度の業績見込みはSC社のそれを用いている。そのため、同社が公表した際には、今後四半期ごとに作成されるレポートにおいて、順位の変動が予想される。(P3 P5 過去レポート)
- 「経営指標総合ポイント」を構成する4つの大項目(「成長性」、「資本利益率」、「売上高利益率」、「健全配当性向」)のうち、上位から30%以内をSC社はその項目における上位社と認識しているが、19年11月基準においては、4つの大項目で、これに該当するものは無かったが、今回は「健全配当性向」が、上位から29.1%と、その基準を満たした。同社は、配当方針において、「連結配当性向20%以上、株主資本配当率(DOE) 3%程度」を当面の目標として掲げている。20年3月期においては、P4に記したように、配当総額が(最終)利益を上回る(配当性向: 105.2%)配当を行うことにより、DOEは2.3%を確保している。これは同じく配当方針に掲げられている、「株主資本利益率(ROE)」の水準を踏まえて配当を行うことを実践していると評価できる。(P4 P5 P10)

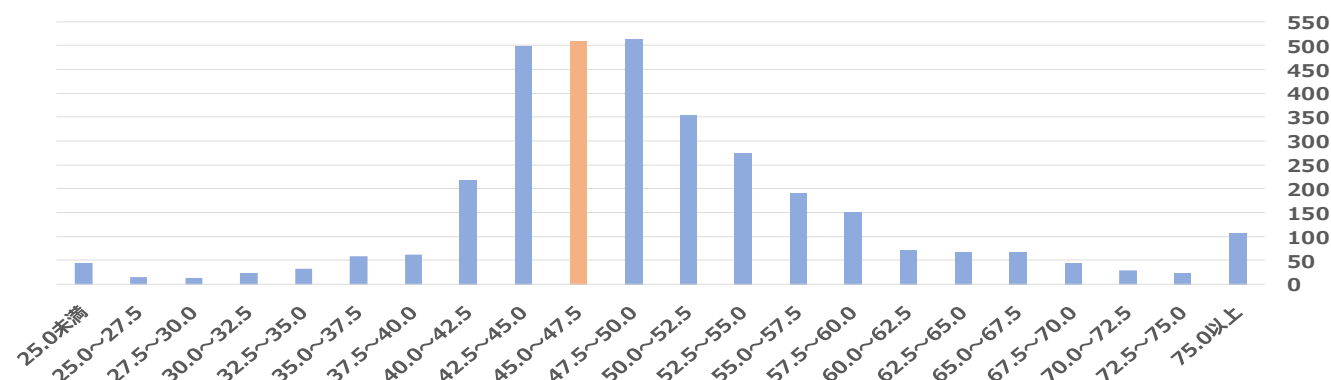
「成長性」29業種3366社 分布表 (茶色: 同社) (右: 社数)



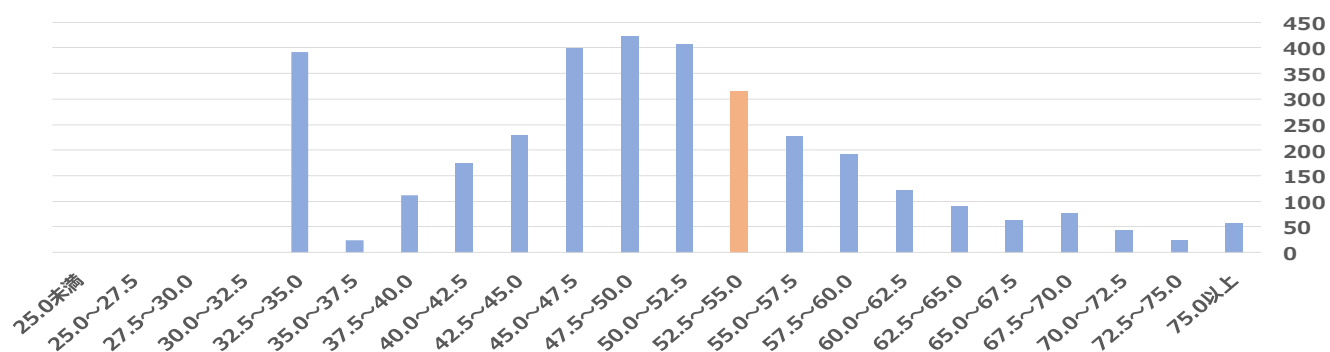
「資本利益率」29業種3366社 分布表 (茶色: 同社) (右: 社数)



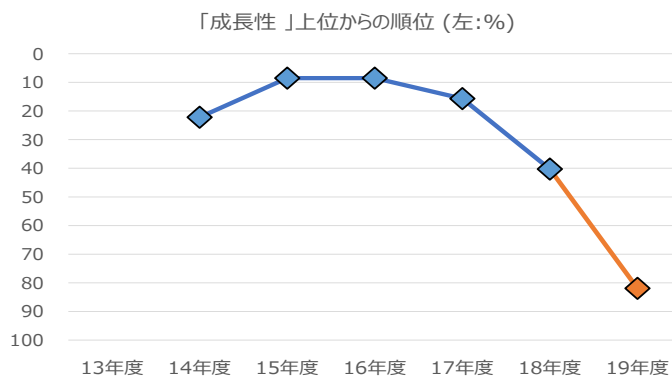
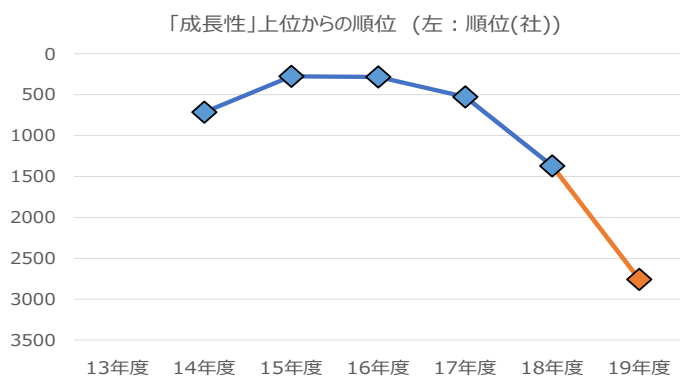
「売上高利益率」29業種3366社 分布表 (茶色: 同社) (右: 社数)



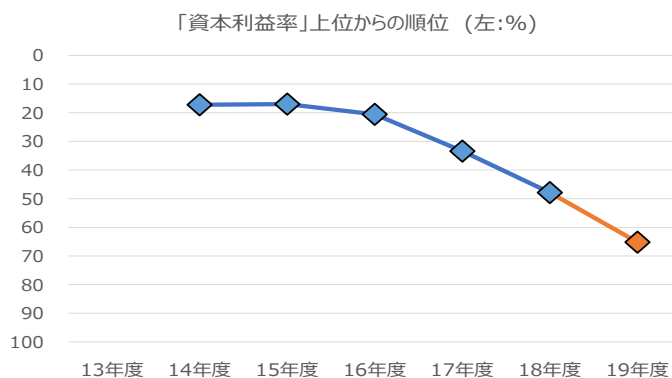
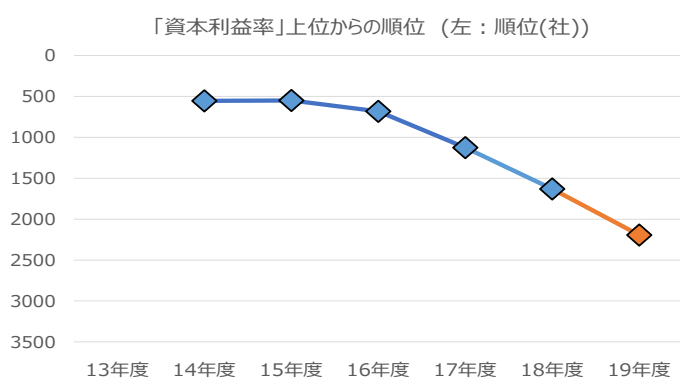
「健全配当性向」29業種3366社 分布表 (茶色: 同社) (右: 社数)



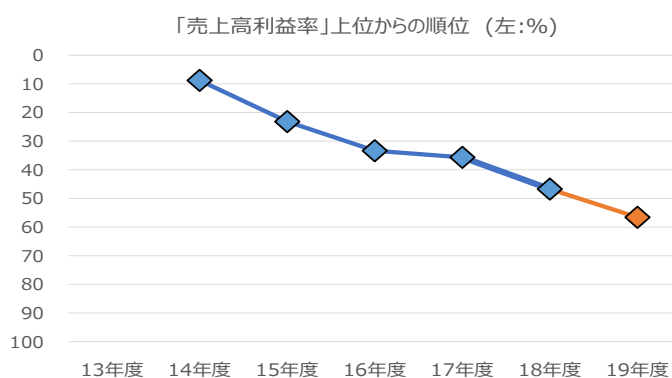
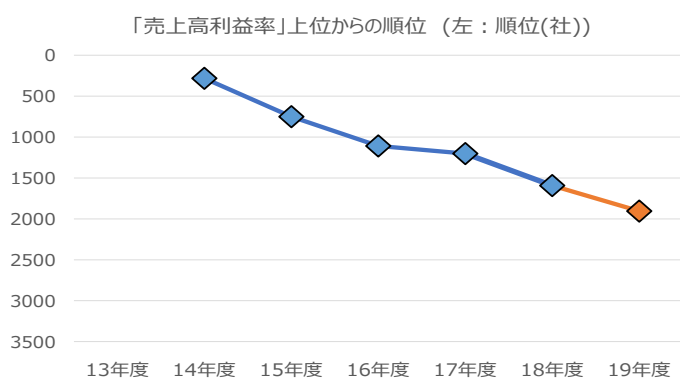
「成長性」ヒストリカル推移 グラフ



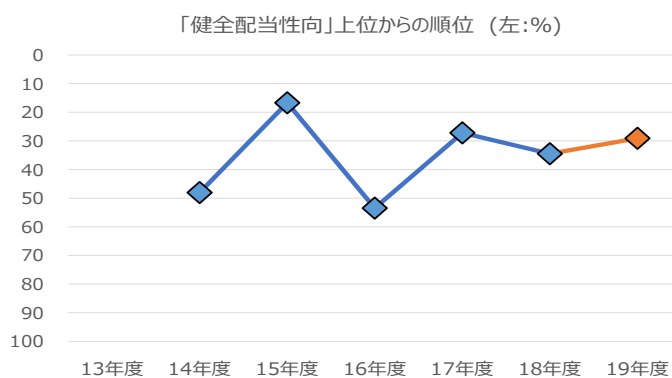
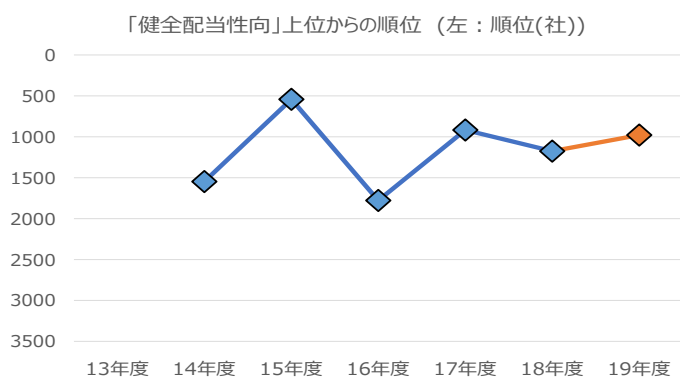
「資本利益率」ヒストリカル推移 グラフ



「売上高利益率」ヒストリカル推移 グラフ



「健全配当性向」ヒストリカル推移 グラフ



経営指標ランキング5分位 (全項目)

	上位から 80%～100%	上位から 60%～80%	上位から 40%～60%	上位から 20%～40%	上位から 20%以内
【 経営指標総合 】… ★		★			

【 大項目 】… ☆	上位から 80%～100%	上位から 60%～80%	上位から 40%～60%	上位から 20%～40%	上位から 20%以内
【 成長性 】	☆				
【 資本利益率 】		☆			
【 売上高利益率 】			☆		
【 健全配当性向 】				☆	

(成長性・中項目) … ●	上位から 80%～100%	上位から 60%～80%	上位から 40%～60%	上位から 20%～40%	上位から 20%以内
<小項目> … ◎					
(3期)	●				
< 売上高成長率 >		◎			
< 営業利益成長率 >	◎				
< 経常利益成長率 >		◎			
< 最終利益成長率 >	◎				
(前期)	●				
< 売上高成長率 >	◎				
< 営業利益成長率 >	◎				
< 経常利益成長率 >	◎				
< 最終利益成長率 >	◎				
(今期)					●
< 売上高成長率 >				◎	
< 営業利益成長率 >					◎
< 経常利益成長率 >					◎
< 最終利益成長率 >					◎

経営指標ランキング5分位 (全項目) 続き

(資本利益率・中項目) … ●	上位から	上位から	上位から	上位から	上位から
<小項目> … ◎	80%~100%	60%~80%	40%~60%	20%~40%	20%以内
(ROA)			●		
< ROA 3期 >			◎		
< ROA 1期 >		◎			
< ROA 今期 >			◎		
(ROE)		●			
< ROE 3期 >		◎			
< ROE 1期 >		◎			
< ROE 今期 >		◎			

(売上高利益率・中項目) … ●	上位から	上位から	上位から	上位から	上位から
<小項目> … ◎	80%~100%	60%~80%	40%~60%	20%~40%	20%以内
(前期)		●			
< 営業利益率 >		◎			
< 経常利益率 >		◎			
< 最終利益率 >		◎			
(今期)			●		
< 営業利益率 >			◎		
< 経常利益率 >			◎		
< 最終利益率 >			◎		

(健全配当性向・中項目) … ●	上位から	上位から	上位から	上位から	上位から
<小項目> … ◎	80%~100%	60%~80%	40%~60%	20%~40%	20%以内
(3期)					●
< 配当性向 >					◎
< DOE >				◎	
(前期)			●		
< 配当性向 >			◎		
< DOE >				◎	

経営指標ランキング・レポート
(業種別経営指標ポイント平均表)

2020年5月決算発表基準
2020年6月24日
スプリングキャピタル株式会社

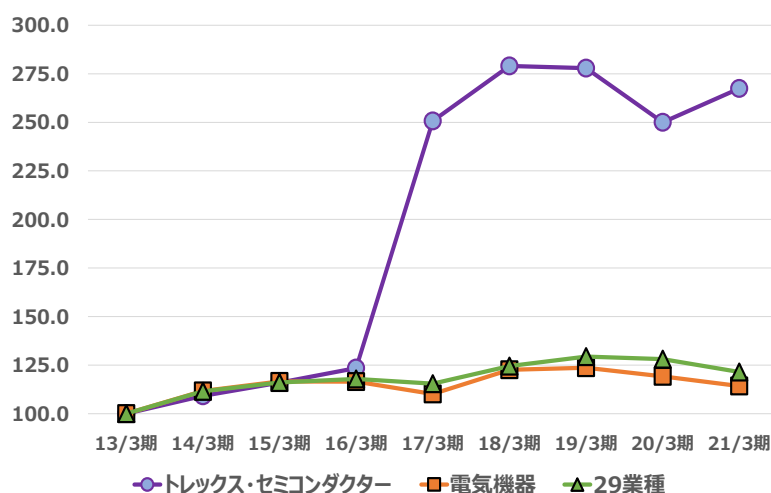
(参考資料)

業種別経営指標ポイント平均

	社数	経営指標総合	順位	成長性	順位	資本利益率	順位	売上高利益率	順位	健全配当性向	順位
水産・農林業	11	48.0	16	50.6	8	48.1	17	47.9	20	47.2	24
鉱業	6	46.4	22	45.0	23	47.7	20	52.3	3	46.2	27
建設業	162	51.3	4	51.2	6	51.9	4	49.7	15	50.5	10
食料品	123	48.4	13	48.5	14	48.4	15	47.9	19	50.6	8
繊維製品	54	44.4	27	45.9	20	43.6	27	45.9	27	48.6	17
パルプ・紙	25	47.3	19	50.4	9	46.2	25	48.2	18	47.0	26
化学	207	50.0	7	47.6	17	49.9	6	52.0	5	51.4	4
医薬品	61	48.2	15	52.3	5	43.4	28	50.8	11	48.0	21
石油・石炭製品	11	45.2	24	41.7	28	46.3	23	46.9	23	52.5	1
ゴム製品	15	48.7	11	45.7	22	50.1	5	50.8	10	50.6	7
ガラス・土石製品	56	48.2	14	47.6	18	48.9	10	51.0	9	48.1	20
鉄鋼	45	44.4	26	44.9	24	45.7	26	46.9	22	47.0	25
非鉄金属	31	45.6	23	44.5	25	47.6	21	47.5	21	48.5	19
金属製品	90	47.8	18	48.0	16	48.4	14	49.9	13	47.7	22
機械	218	49.0	9	45.8	21	49.4	7	51.4	7	51.6	3
電気機器	230	49.1	8	48.4	15	48.7	11	50.1	12	50.6	9
輸送用機器	85	45.0	25	44.0	27	46.3	24	46.3	24	49.6	13
精密機器	48	50.5	6	50.8	7	49.3	9	51.8	6	49.7	12
その他製品	106	48.7	10	48.6	12	47.5	22	48.4	17	51.9	2
電気・ガス業	24	50.6	5	53.2	4	48.5	13	51.1	8	48.6	16
陸運業	64	47.0	21	46.4	19	48.5	12	49.8	14	47.4	23
海運業	12	41.2	28	44.2	26	42.8	29	44.6	28	43.3	28
空運業	5	40.5	29	40.6	29	47.9	19	42.5	29	42.4	29
倉庫・運輸関連業	38	48.5	12	48.9	11	49.3	8	48.5	16	48.9	15
情報・通信業	433	54.2	2	55.6	1	53.3	3	53.2	2	49.4	14
卸売業	306	47.9	17	49.1	10	48.1	16	46.1	25	50.2	11
小売業	331	47.0	20	48.5	13	48.0	18	45.9	26	48.6	18
不動産業	130	55.2	1	54.1	2	54.5	1	55.4	1	51.3	6
サービス業	439	53.9	3	53.3	3	54.2	2	52.2	4	51.3	5
全業種	3366	50.0		50.0		50.0		50.0		50.0	

成長性比較

売上高推移 (13/03月期 = 100)

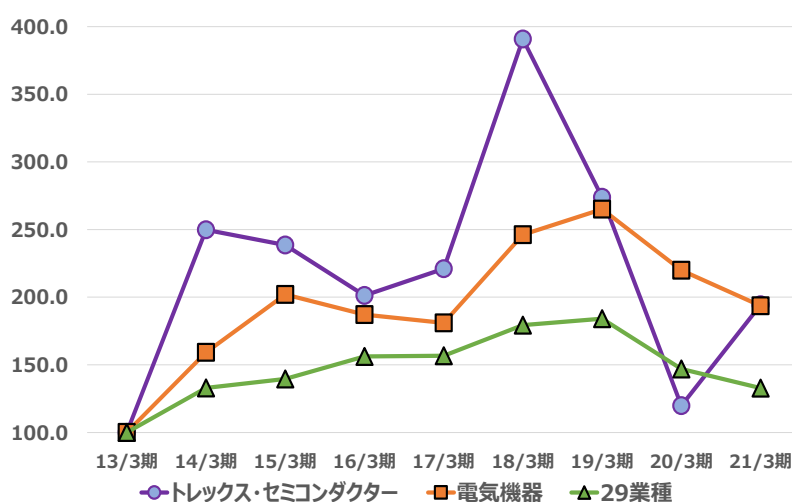


売上高対前期増減率 (%)

	トレックス・セミコンダクター	電気機器	29業種
14/03期	9.2	11.7	11.5
15/03期	6.2	4.3	4.0
16/03期	6.5	-0.0	1.6
17/03期	103.0	-5.5	-2.1
18/03期	11.3	11.3	7.8
19/03期	-0.4	0.9	4.0
20/03期	-10.0	-3.6	-1.1
21/03期	7.0	-4.2	-5.2

13/03期 - 21/03期			
8期平均成長率	13.1	1.7	2.5
16/03期 - 21/03期			
5期平均成長率	16.7	-0.4	0.6

営業利益推移 (13/03月期 = 100)

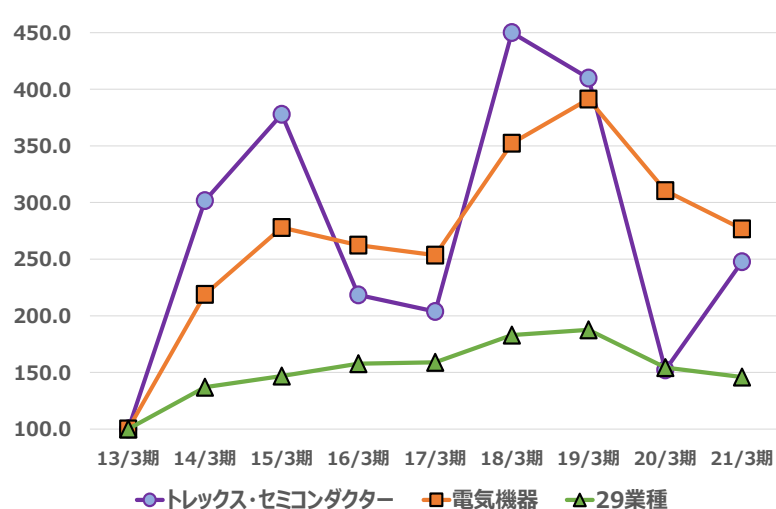


営業利益対前期増減率 (%)

	トレックス・セミコンダクター	電気機器	29業種
14/03期	149.8	59.2	32.9
15/03期	-4.5	26.9	5.0
16/03期	-15.6	-7.4	12.0
17/03期	9.8	-3.3	0.3
18/03期	76.8	36.1	14.5
19/03期	-29.9	7.6	2.6
20/03期	-56.3	-17.0	-20.2
21/03期	62.2	-11.9	-9.6

13/03期 - 21/03期			
8期平均成長率	8.7	8.6	3.6
16/03期 - 21/03期			
5期平均成長率	-0.7	0.7	-3.2

経常利益推移 (13/03月期 = 100)



経常利益対前期増減率 (%)

	トレックス・セミコンダクター	電気機器	29業種
14/03期	201.6	118.9	36.9
15/03期	25.3	26.9	7.3
16/03期	-42.2	-5.6	7.4
17/03期	-6.7	-3.4	0.8
18/03期	120.8	38.9	15.1
19/03期	-8.9	11.1	2.5
20/03期	-62.9	-20.7	-17.7
21/03期	62.7	-10.9	-5.4

13/03期 - 21/03期			
8期平均成長率	12.0	13.6	4.8
16/03期 - 21/03期			
5期平均成長率	2.5	1.1	-1.5

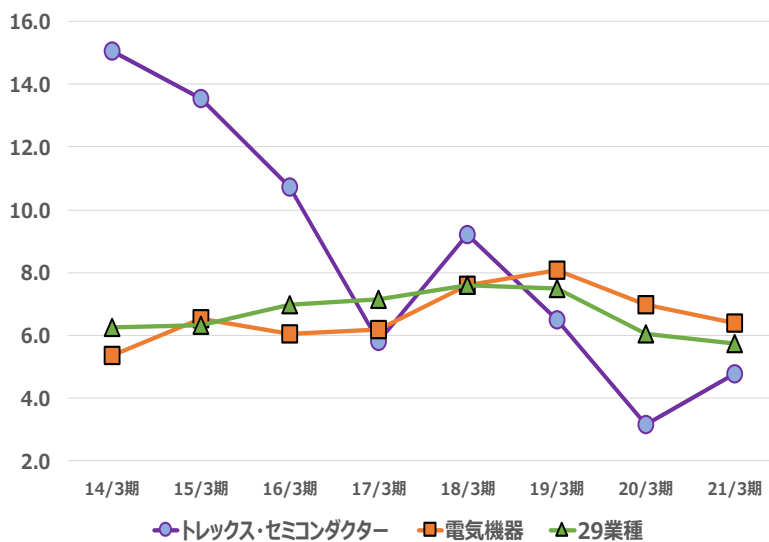
利益率比較

(営業利益率 最終利益率 推移)

2020年6月24日
スプリングキャピタル株式会社

利益率比較

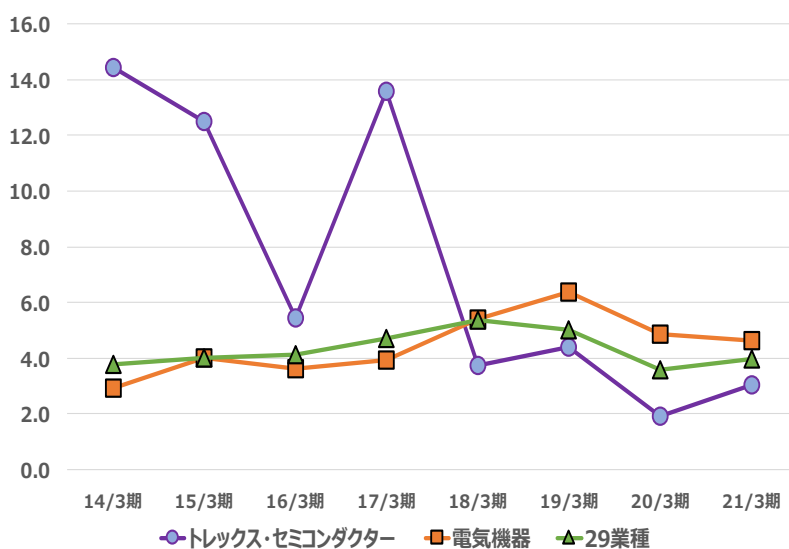
売上高営業利益率推移 (%)



売上高営業利益率推移 (%)

	トレックス・セミコンダクター	電気機器	29業種
14/03期	15.1	5.4	6.3
15/03期	13.5	6.5	6.3
16/03期	10.7	6.1	7.0
17/03期	5.8	6.2	7.1
18/03期	9.2	7.6	7.6
19/03期	6.5	8.1	7.5
20/03期	3.2	7.0	6.0
21/03期	4.8	6.4	5.8
14/03期～21/03期 8期平均	8.6	6.6	6.7
17/03期～21/03期 5期平均	5.9	7.0	6.8

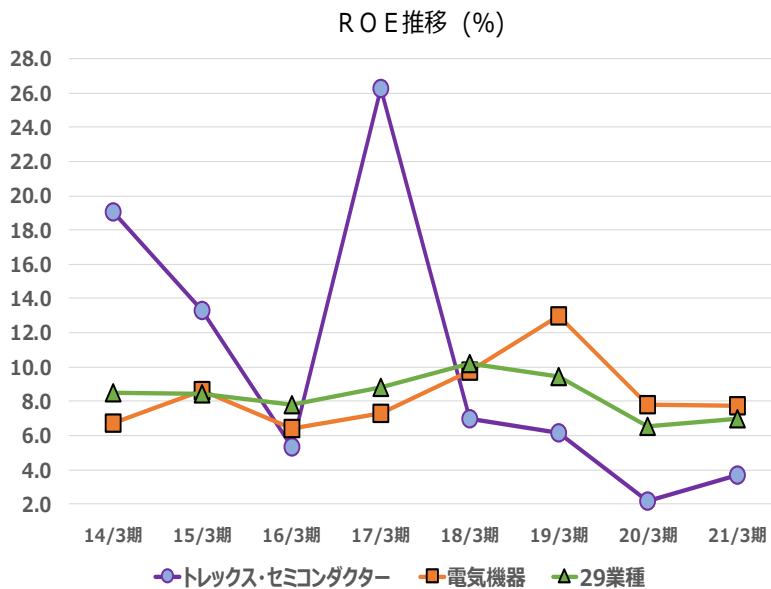
売上高最終利益率推移 (%)



売上高最終利益率推移 (%)

	トレックス・セミコンダクター	電気機器	29業種
14/03期	14.5	2.9	3.8
15/03期	12.5	4.0	4.0
16/03期	5.5	3.6	4.1
17/03期	13.6	3.9	4.7
18/03期	3.8	5.4	5.4
19/03期	4.4	6.4	5.0
20/03期	1.9	4.9	3.6
21/03期	3.0	4.6	4.0
14/03期～21/03期 8期平均	7.4	4.5	4.3
17/03期～21/03期 5期平均	5.3	5.0	4.5

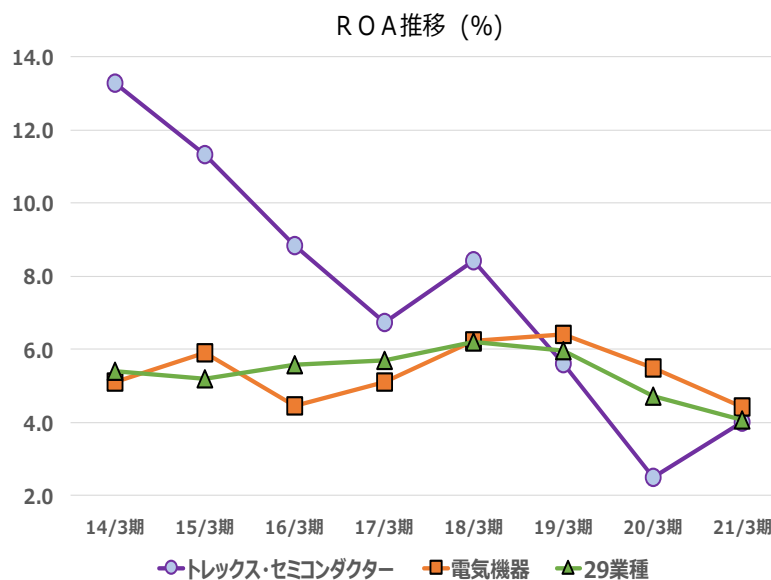
ROE比較



ROE推移 (%)

	トレックス・セミコンダクター	電気機器	29業種
14/03期	19.1	6.7	8.5
15/03期	13.3	8.6	8.4
16/03期	5.3	6.4	7.8
17/03期	26.3	7.3	8.8
18/03期	7.0	9.8	10.2
19/03期	6.2	13.0	9.4
20/03期	2.2	7.8	6.5
21/03期	3.7	7.7	7.0
14/03期 - 21/03期 8期平均			
	10.4	8.4	8.3
17/03期 - 21/03期 5期平均			
	9.0	9.1	8.4

ROA比較



ROA推移 (%)

	トレックス・セミコンダクター	電気機器	29業種
14/03期	13.3	5.1	5.4
15/03期	11.3	5.9	5.2
16/03期	8.8	4.4	5.6
17/03期	6.7	5.1	5.7
18/03期	8.4	6.2	6.2
19/03期	5.6	6.4	6.0
20/03期	2.5	5.5	4.7
21/03期	4.0	4.4	4.1
14/03期 - 21/03期 8期平均			
	7.6	5.4	5.4
17/03期 - 21/03期 5期平均			
	5.4	5.5	5.3

ディスクレマー

- ・ 本レポートは、トレックス・セミコンダクター株式会社（以下、「同社」）とスプリングキャピタル株式会社（以下、「SC社」）の契約に基づき、SC社が作成したものである。同社は、本レポートの作成にあたり、定性情報、経営指標ランキングに採用されている経営指標、比較レポートに採用されている業種区分（または同業区分）等、全ての項目において同社の恣意性を排斥し、SC社の基準によることを承諾したうえで、契約を行っている。
- ・ 本レポートは、客観的な視点に立った経営指標ランキングを企業がモニタリングすることを目的に作成されており、投資の勧誘等を意図したものではない。そのため、投資の判断、投資の行為は投資家自らの意思で行われることであり、同社及びSC社は、その行為、結果等に一切責任を負わない。
- ・ SC社は、本レポートの配布について、同社に制限を定めないが、経営指標ランキング、及び比較レポートに関する全てのデータの著作権を含む知的所有権はSC社に帰属する。そのため、本レポート閲覧者などが、SC社の許可なく、本レポート及びデータ等を無断で掲載、転載、公表する等の行為（電磁媒体による行為も含む）を一切禁止する。

比較レポートに関するディスクレマー

- ・ P 12～P 14の比較レポートにおいて、「成長性」、「利益率」、「ROE」、「ROA」について、「29業種」及び東証業種区分における同業に対してその推移の比較を行っているが、「ROE」、「ROA」の数値はP 4掲載数値と同一であるものの、「成長性」、「利益率」については、P 3掲載数値と一致していない。これは、「成長性」の長期比較を可能とするため、比較レポートの対象企業については、「29業種」及び東証業種区分における同業企業ともに、2010年度から2019年度まで継続して本決算を発表していた企業のみを対象としているからであり、この、成長性比較のためのユニバースの変更は、毎年、前年度の順位確定レポートである5月基準レポート（本レポート）において行われる。
- ・ また、「ROE」、「ROA」については、P 4「簡易版ファクト・シート」のそれぞれの項で説明しているSC社基準により比較を行っている。

経営指標総合ランキングに関するディスクレマー

- ・ 本レポートにおける全業種とは、東証33業種区分のうち会計基準の違う金融4業種（銀行・証券商品・保険・その他金融）を除いた29業種であり、2020年3月末日に普通株式が日本市場において上場している全企業を対象としている。また、成長性、ROA、ROE等の算出において直近4事業年度の本決算数値を用いるため、同期間において、本決算を発表していない企業、1度でも自己資本がゼロまたはマイナスとなった企業、及び、決算を日本基準に引き直す際に会社発表決算数値から合理性のある数字を算出できない企業、2020年5月29日までに2019年度の決算短信を開示できなかった企業は対象外としており、ランキング対象社数は3,366社である。
- ・ 本レポートに用いている2020年度の数値は、①企業による決算発表数値、②企業による見込み、③スプリングキャピタル社（以下、「SC社」）見込みの優先順位で採用している。本2020年5月基準レポートにおける2020年度見込みで、③SC社見込みを採用している企業数は1,575社である。
- ・ 今後、2020年度のレポートについては、3月決算企業の四半期決算発表を受けて、2020年8月基準、2020年11月基準、2021年2月基準により、各翌月に作成され、2020年度の順位確定レポートは、2021年5月基準により、その翌月に作成される予定である。尚、2020年度については、上記のように2020年5月時点で、2020年度の業績予想を発表していない企業が多く、また、今後、それらの企業が業績予想を発表することにより、各レポートにおける順位の変動が大きく生じることが予想されることに注意が必要である。
- ・ 本レポートにおける「経営指標総合」（SC社ポイント）は、大項目である「成長性」、「資本利益率」、「売上高利益率」、「健全配当性向」の総合評価点であり、各配分は30%、25%、20%、25%となっている。
- ・ 各大項目を構成する中・小項目はP9、P10に記載している。また、各小項目は、最高偏差値80、最低偏差値20となるように極端な値（極値）の補正を行っている。また、中項目、大項目は小項目に基づくSC社ポイントであり補正は行っていないが、数度の偏差値を求める作業により、大項目のSC社ポイントの平均点は50となっている。
- ・ 本レポートにおける企業決算データはSC社が保有しているものであるが、一部の数字についてはSC社が契約している情報ベンダーの数字と検証を行い、正確性を高めている。しかし、その完全性をSC社は保証するものではない。尚、本レポートに記載されている内容は、資料作成時におけるものであり、予告なく変更されることがある。